

至仏山に咲く花 ①

至仏山を目指した目的の一つが、そこに咲く高山植物の花々を見ることでした。

針葉樹林帯の中は、急な斜面を黙々と上るだけ。森林限界を知らせる標板を過ぎると、登山道の脇に花が見えだしました。

曇から雨の天候で、思うように写真を撮ることはできませんでしたが、写してきた写真を、植物図鑑で調べてまとめました。



森林限界を示す標板。クマザサに埋もれるように置かれてあった。



コオニユリ (ユリ科) 森林限界を越えて最初に現れたのが、この鮮やかな朱色。亜高山に生える多年草。



森林限界を越えて登ること 45 分。振り返ると尾瀬ヶ原の全貌とその向こうに霧のような雨に煙った燧ヶ岳が見えている。

この辺りから、見たいと思って登ってきた下の写真のような景色が広がっている。高山植物、何種類の花が咲いているだろうか。



ミヤマダイモンジソウ (ユキノシタ科) 湿った岩につく多年草。花の形が大の字だから憶えやすい。



シブツアサツキ (ユリ科) 至仏山特産の蛇紋岩植物。葉も茎も細い円筒形で、葱坊主のような花が咲く。



ショウシュウオニアザミ (キク科) 草地に生える多年草。蛇紋岩植物。葉が堂々としていて、オニの名がついたのも頷ける。これは蕾。



タカネニガナ (キク科) 乾いた岩場に生える多年草。黄色い花は直径 15 mm。葉を折ると出る白い汁が苦い。



撮影・制作



ホソバヒナウスユキソウ (キク科) 群馬県特産の蛇紋岩植物。至仏山の岩礫地に生える多年草。ヒナウスユキソウの変種。茎や葉、総苞は白い綿毛で覆われている。花は管状で数個集まって付く。葉が細く変異したので名前に「ホソバ」が付いたのだろう。左は花を横から見た姿。



ヒナウスユキソウ (キク科) 草地に生える多年草。ミネウスユキソウとも呼ばれ、日本では変種が 10 種程あるそうだ。白い綿毛は日射による水分の蒸散や、気圧・温度の変化等から身を守るため、ということだ。



左の写真から、花の部分を拡大してみた。花の形がよくわかる。そうしたら、虫がきて蜜を吸っていた。



至仏山に咲く花 ②

右の写真のピーク、左側が至仏山の頂上だったように思う。

山頂直下のここは高天ヶ原と呼ばれる場所で、礫地がかなりの広さで平坦になっている。岩の間、砂礫の上などに高山植物の花がいたるところで咲いていて、見飽きない。



タカネシオガマ (ゴマノハグサ科)
高山の礫地の草むらで、イネ科の植物に半寄生する多年草。
10~20個の紅色の花が集まって穂状に咲く。



イブキジャコウソウ (シソ科)
岩場・礫地に生える常緑矮性低木。茎や葉はよい匂いがする、と書いてあるがどんな匂いなのだろう。花の長さ7~8mm、直径約5mm。



ショウシュウアズマギク (キク科)
岩礫地や草地に生える多年草。群馬県特産種だから名に「ショウシュウ」が付く。花茎は高さ15cmくらいで短毛をまとう。花は紫色。



ヤマハハコ (キク科)
この花、ミネウスユキソウのようにも見えるが、平地にも生えるハハコグサの近縁種なのではなかろうか。
高原に生える多年草。地下茎で繁殖する。



キバナノコマノツメ (スミレ科)
葉の形が馬蹄形をしているので「駒の爪」と名付けられたという。雪崩草原などに生える多年草。スミレ科でスミレの名がつかない種。至仏山で見たこの花、蛇紋岩地帯特有の変種「ショウエツキバナノコマノツメ」というのがあるというから、まさにそれと言ってもよいかもかもしれない。



シナノキンバイ (キンボウゲ科)
小至仏山から小至山沢田代へ下る長く急な木の階段を歩いていて見つけた。雪崩草原に生える多年草。ピントが花にではなく、コバイケイソウの葉に合っている。



タカネナデシコ 蕾 (ナデシコ科)
蛇紋岩の砂礫地などに生える多年草。花は開くと3~4cm、花弁は濃紅色で細く裂けている。開いて風に揺れる様子を見たいものだ。右は花が咲いたところ。2013年に荒川岳から赤石岳を縦走したときに写したものから。



高天ヶ原。どこを写真で切り取っても絵になる。



オニノヤガラ (ラン科)
地下に肥えた根茎を持つ多年生の無葉蘭。1mほどの茎を伸ばし上部に総状花序を作る。山地の湿った林中に生える。まっすぐの花茎を矢に見立てたものらしい。この写真、至仏山から小至仏山への途中で写したものだが、雨が降っていなければあちこちカメラを向けてシャッターを押ししたいところだった。

おわりに

至仏山はかなり厳しい山なので不安だったが、予定時間を大幅に超過したとはいえ、無事に完歩できたことに安心し、自分の歩く体力に自信を持つことができた山旅でした。

次はどこへ、どんな目的をもって出かけようか、考えています。図鑑などで調べることも久しぶりで、結構良い時間つぶしになりました。ここまでお付き合いくださり、ありがとうございます。